

# ハザードマップを活用した自然災害 リスクを考えるワークショップ

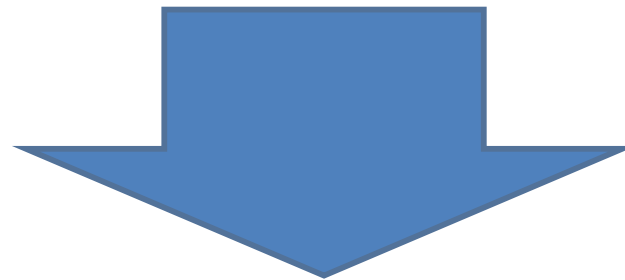
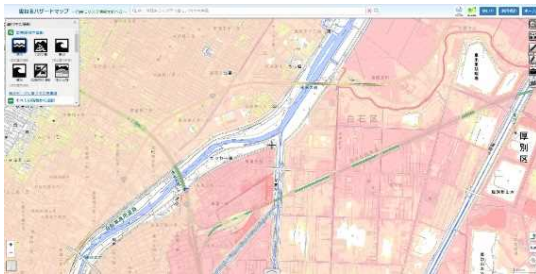
令和6年6月14日

北海道運輸局  
安全防災・危機管理課

No.	内容	時間	補足
	～グループ分け～		<ul style="list-style-type: none"><li>4～5名 × 3グループ + 運輸局</li></ul>
1	事前説明	5分	<ul style="list-style-type: none"><li>意図と進め方をお伝えします。</li></ul>
2	討議①	15分	<ul style="list-style-type: none"><li>災害発生時の被害想定について</li></ul>
	～全体共有～	5分	
3	討議②	10分	<ul style="list-style-type: none"><li>事前の備えについて</li></ul>
	～全体共有～	5分	
4	まとめ	5分	

重ねるハザードマップを使って

## 自社リスクの可視化



## 防災を自分事に



## リスク評価

自社の現状に合わせて必要な取組を検討  
優先度を勘案して取組計画に反映

ここです

### 1. 災害種類・規模想定

地震 or 土砂崩れ or 大雨 or 台風  
or 洪水 or 高潮 or 津波 + MIX?

施設の位置・立地  
運行(航)エリア  
従業員通勤経路  
等



施設の耐震基準  
地盤の強さ  
がけ崩れの恐れ  
想定浸水深  
海面の高さ

訓練等を通じて検証  
見直し  
改善

### 4. 課題解決の 対策を実行

想定・過去例を  
上回る可能性

### 2. 自社被害・ 事業への影響 度を見積る

1. 災害種類・  
規模想定



インフラ  
人的  
物的

被害規模/程度/額

【事前】

1. 計画的装備
2. 緊急連絡網
3. 防災マニュアル
4. 事業継続計画
5. タイムライン

【事後】

- 初動
- 再開
- 復旧



内容  
レベル  
ハード  
ソフト  
重要度  
費用対効果  
短期・中長期

### 3. 事前～発生 後～復旧まで の課題を特定

# 重ねるハザードマップで確認

- お申込みいただいた住所のハザードマップをお配りします。

洪水浸水想定区域(想定最大規模)

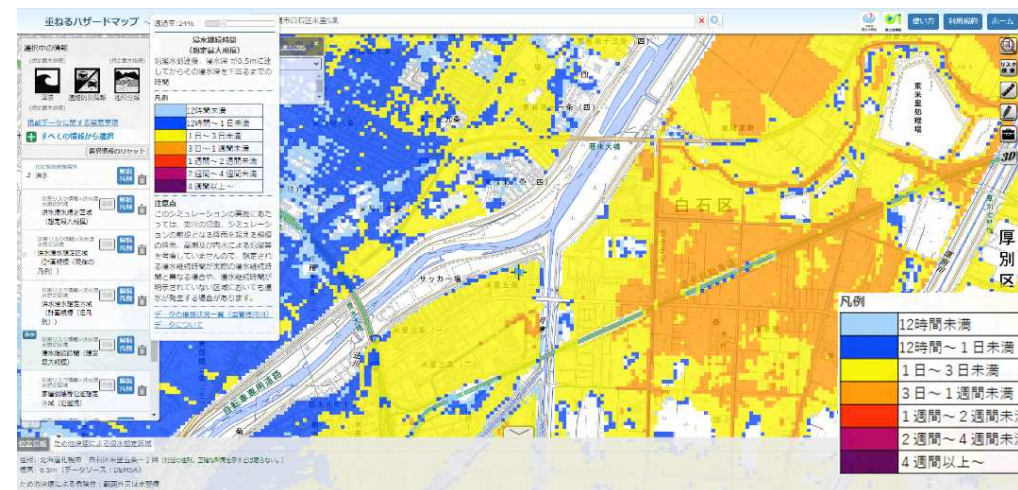
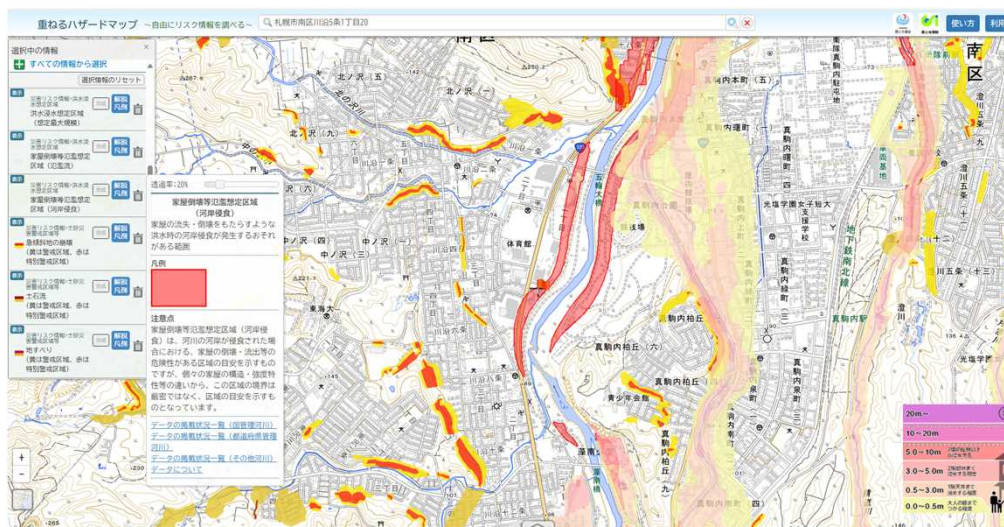


家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域

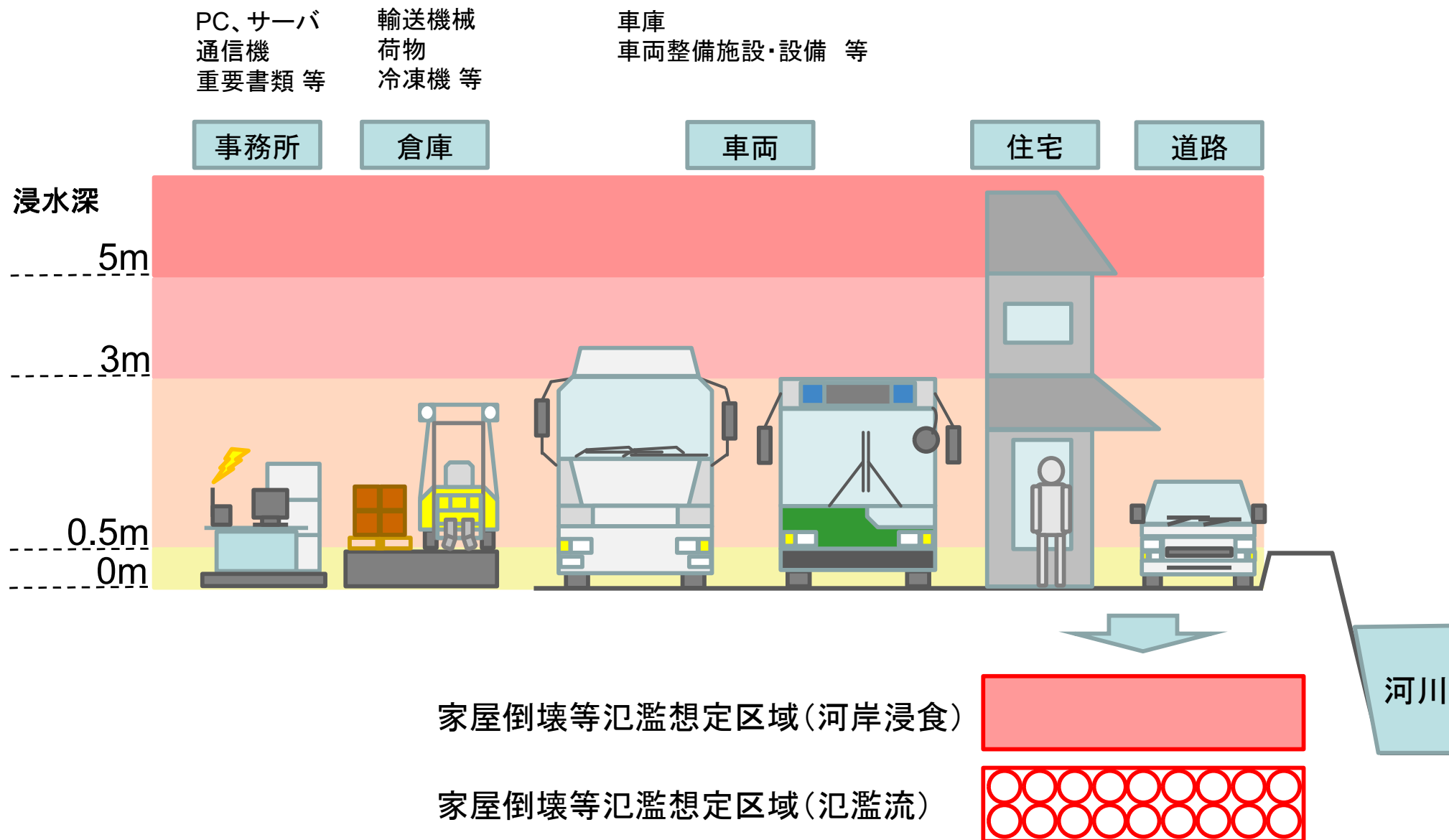
浸水継続時間(想定最大規模)



「重ねるハザードマップ」URL: <https://disaportal.gsi.go.jp/maps/>

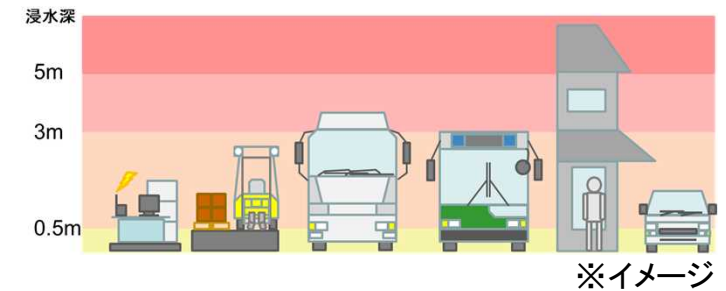


# 討議① 災害発生時の被害想定について



# 討議① 災害発生時の被害想定について

質問1 通常営業している日中の時間帯に、配付したハザードマップの水害が発生した場合の御社の被害はどれぐらいですか。(2分)



項目	被害の規模・程度 (どれぐらいの)	事業に与える影響
人的被害	(乗客) (社員) (他)	
物的被害	(建築物) (車両・船舶) (設備・備品等)	
社会インフラ被害	(道路・線路) (岸壁) (土地)	

.....社の.....と申します。



.....市にある・・(輸送モード)・・の会社です。

主にA～B間(エリア)で運行(航)しています。



# 討議② 事前の備えについて

質問2 想定される被害を最小限に留めるためにはどのような事前の備えが必要でしょうか。(1分)



項目	ソフト面	ハード面
人的被害	(乗客) (社員) (他)	
物的被害	(建築物) (車両・船舶) (設備・備品等)	
社会インフラ被害	(道路・線路) (岸壁) (土地)	

実際、どれだけの損害が発生するかは誰にも解りませんが、  
乗客及び社員を危険な目に遭わせ、多大な損害を被るかもしれません。

それを避けるには  
経営トップが、

